

ほけんだより

夏に多い感染症

夏号



手足口病

手のひら、足の裏、口の中、おしりなどにできる、赤い発しんや水疱。発熱、下痢、嘔吐を伴うこともある。感染力が強く、**水疱がつぶれた汁で感染**する為、お休みをお願いしています。

【予防】うがい、手洗いの徹底が基本。

【対処】早めに病院に受診し、のどごしのよい食事をとりましょう。熱が下がってから1日以上経過し食事がとれるようになったら登園できます。

アタマジラミ

幼虫や成虫が頭皮から吸血し頭がかゆくなり、髪の毛のあたりに、白い卵がくっつく。

【予防】一日一回、頭髮のチェック！フケに似ているが髪にしっかりついて、つまんでも取れないのが卵です。

【対処】シラミ駆除用のシャンプーを行い、卵は専用のクシで一個ずつとりましょう。自宅で治療してからの登園となります。

とびひ

虫刺されや切り傷、湿疹の後にできる、かゆみのある水疱。「傷がジュクジュクしている」「なかなか治らない」というのが、とびひの始まりのサイン。

【予防】つめを短く切り、皮膚を清潔に保つ。

【対処】汁がつくと感染する為患部をガーゼで覆いはじめに病院受診しましょう。再発しやすいため**完治が大事**です。

プール熱(アデノウイルス)

高熱、のどのはれと痛み、目の充血やまぶたの裏の赤み。熱は3～5日続く。

【予防】のどの痛みと、目の充血が特徴。感染力が強いのでトイレのドアノブなど清潔に保つ。

【対処】病院受診し症状が治まって**2日**たってからの登園です。登園の際は医師の治癒完治証明書が必要です。

保育園は集団生活の為、感染症は未然に防ぎたいものです...
感染してしまった場合、完治してからの登園となります。ご協力よろしくお願いします。

熱中症



子どもは体温調整がうまくできず、温度変化の影響を受けやすいです。

お散歩や戸外活動などは気温や子ども達の体調を考慮しながら活動を行っています。こまめに水分補給やミネラルを摂取し

身体がほてった時には水遊びをしてクールダウン♡

安全に思いっきり活動を楽しみたいですよ(*^-^*)

【症状】

頭痛、めまい、吐き気。呼吸が荒くなり顔が赤くなる。

【予防】

日中は帽子をかぶり、こまめに水分補給。

木陰で休憩したり室内でも温度調整を行う。

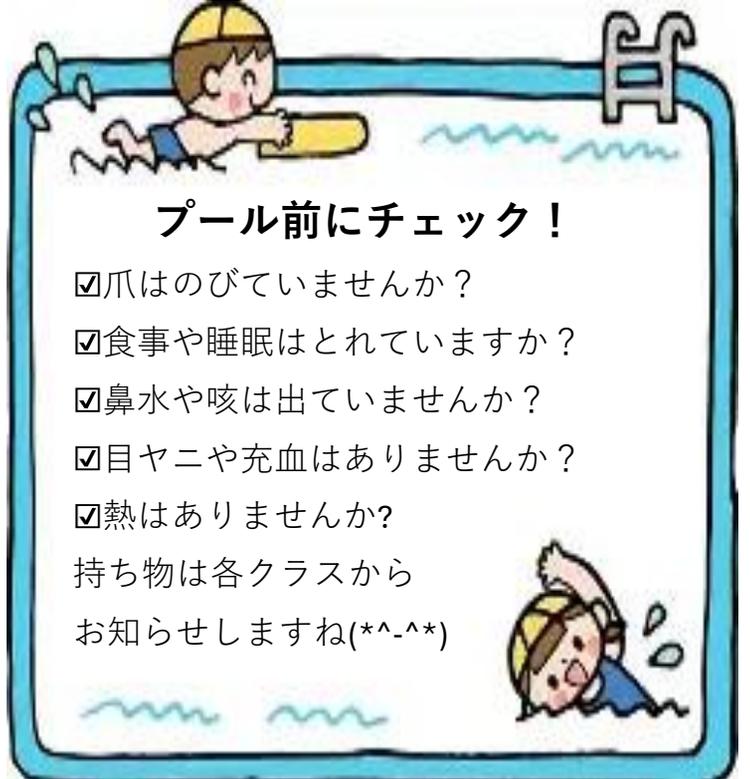
【対処】

ぬれタオルで首すじや脇の下などを覚ましてゆっくりほてりを和らげる。39℃以上の発熱や

意識がない時には救急車を！！



プール☆



プール前にチェック！

- 爪はのびていませんか？
 - 食事や睡眠はとれていますか？
 - 鼻水や咳は出ていませんか？
 - 目ヤニや充血はありませんか？
 - 熱はありませんか？
- 持ち物は各クラスからお知らせしますね(*^-^*)

